

一般国道115号相馬福島道路 (阿武隈東～阿武隈)

設計・用地幅杭打設に関する説明会

国土交通省東北地方整備局

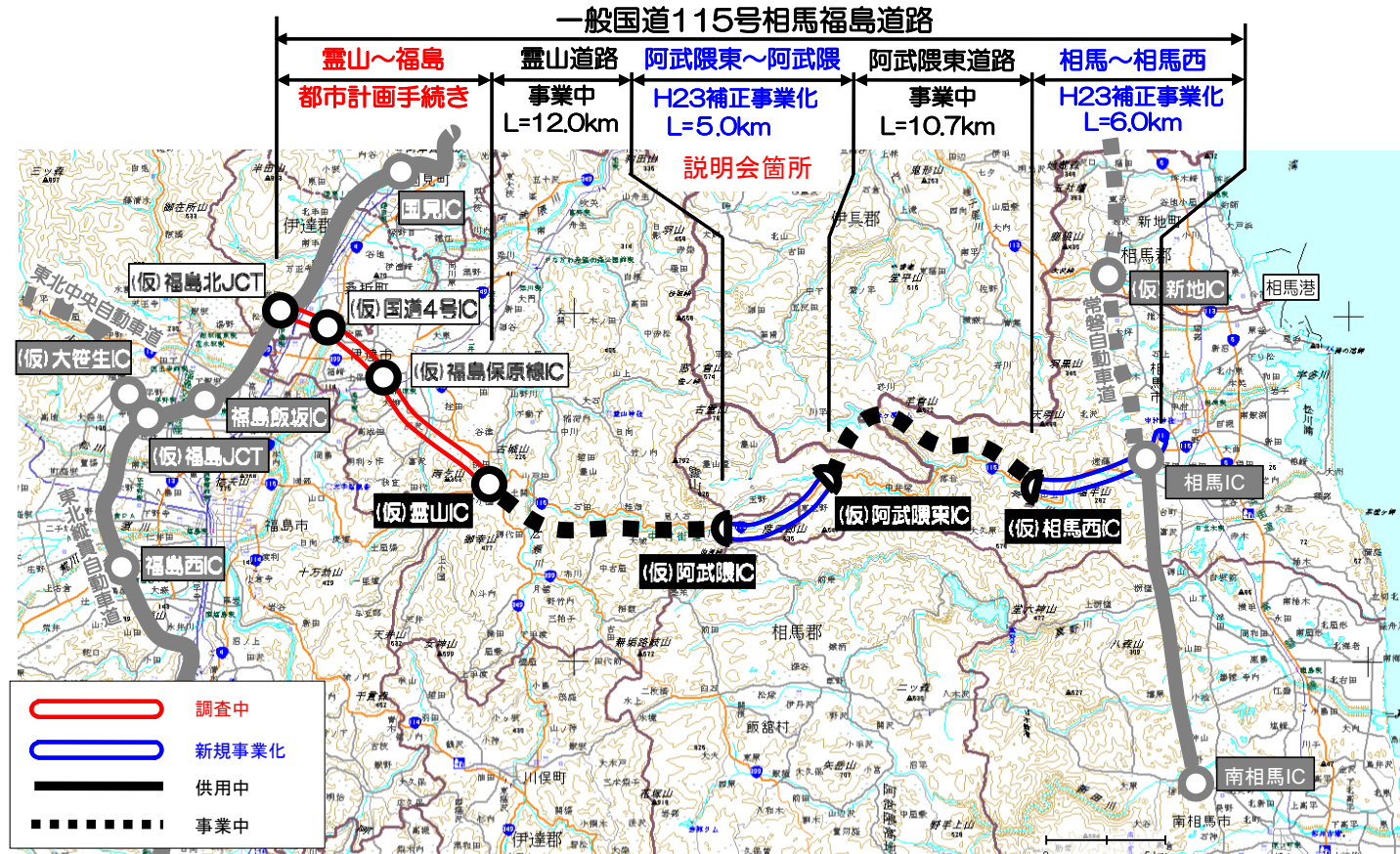
福島河川国道事務所

本日の説明事項

1. 事業の概要
2. 計画概要
3. 今後の事業の進め方

1. 事業の概要

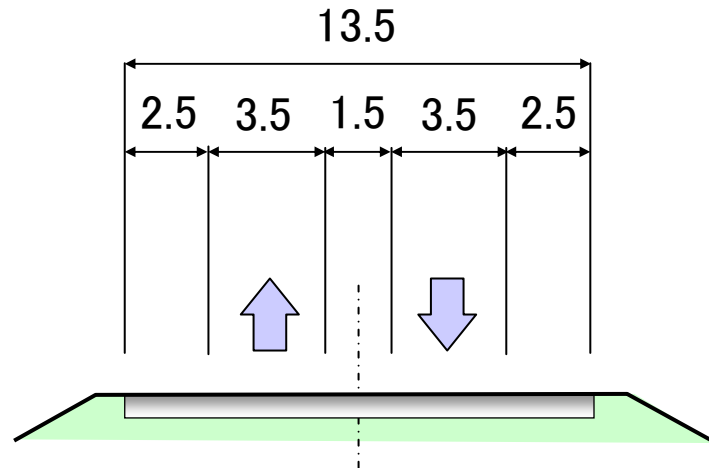
東日本大震災の被災地と内陸部との強力な連携を促進することによる被災地の早期復興の支援、平常時も含めた救急搬送圏域の拡大による安全・安心を確保するため、既事業区間の阿武隈東道路及び霊山道路に加えて、阿武隈東～阿武隈（本区間L=約5km）及び相馬～相馬西（L=約6km）が平成23年11月に新規事業化されました。



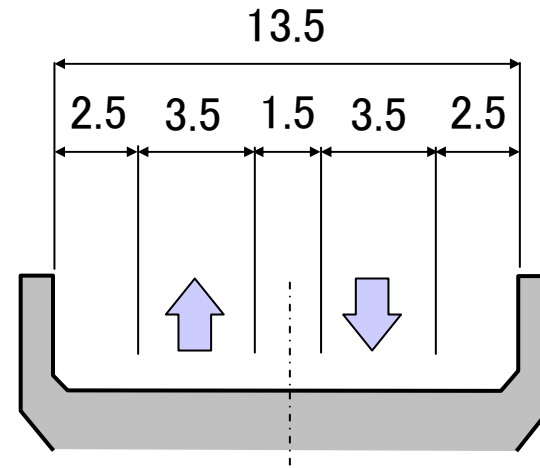
2. 計画概要

標準幅員

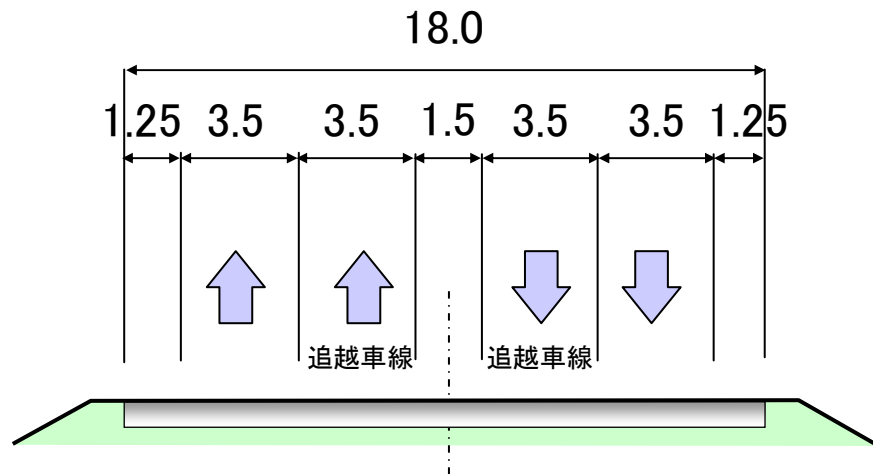
土工部



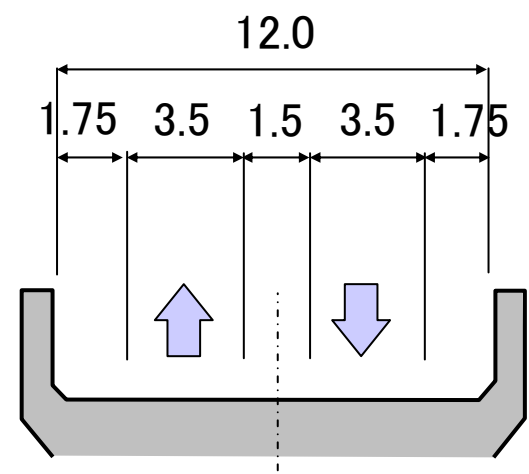
中小橋(L<50m)



追越車線部



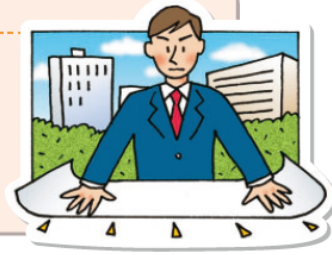
長大橋(L≥50m)



3. 今後の事業の進め方

1 道路の計画

交通量や混雑状況を調査し、地域に必要な道路について計画します。



2 計画の説明(土地立入了解)

計画が決まると関係者に説明を行い協力を求めます。



- ・平成23年12月6日 伊達市霊山町石田地区で実施
- ・平成23年12月8日 相馬市玉野地区で説明会実施

3 路線測量・地盤調査

道路をつくるため必要な資料の収集・調査・図面の作成を行います。



4 道路の設計

測量図面や収集した資料をもとに利用しやすい道路や橋等の設計を行います。



5 設計の説明

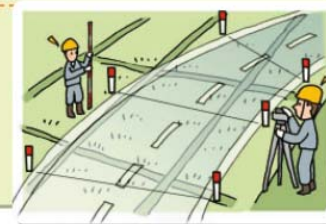
関係する方に道路の設計について説明を行い、設計について了解をいただきます。



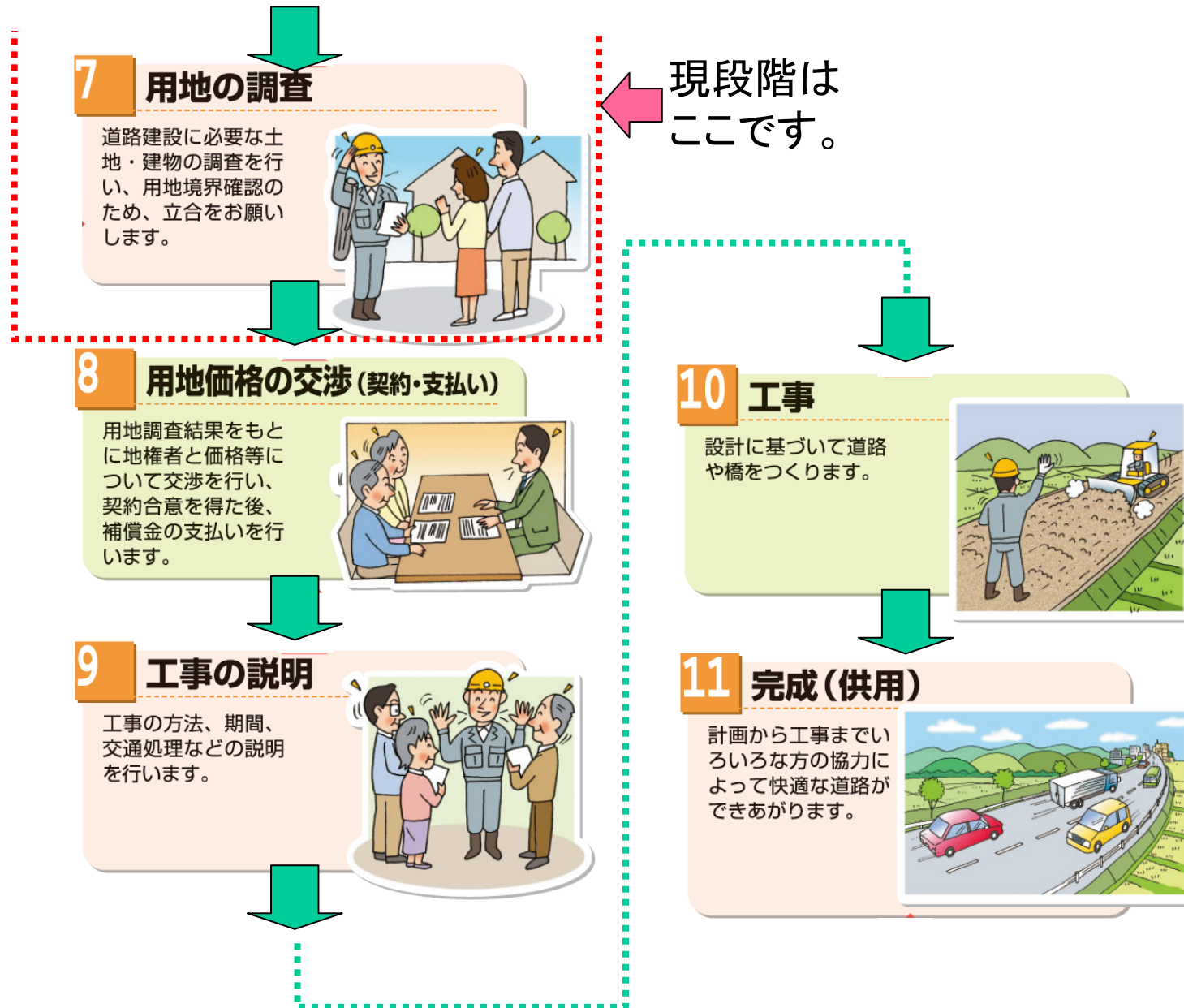
現段階は
ここです。

6 用地巾杭設置

設計に基づき道路建設に必要な用地の範囲を示す杭を打設します。



3. 今後の事業の進め方

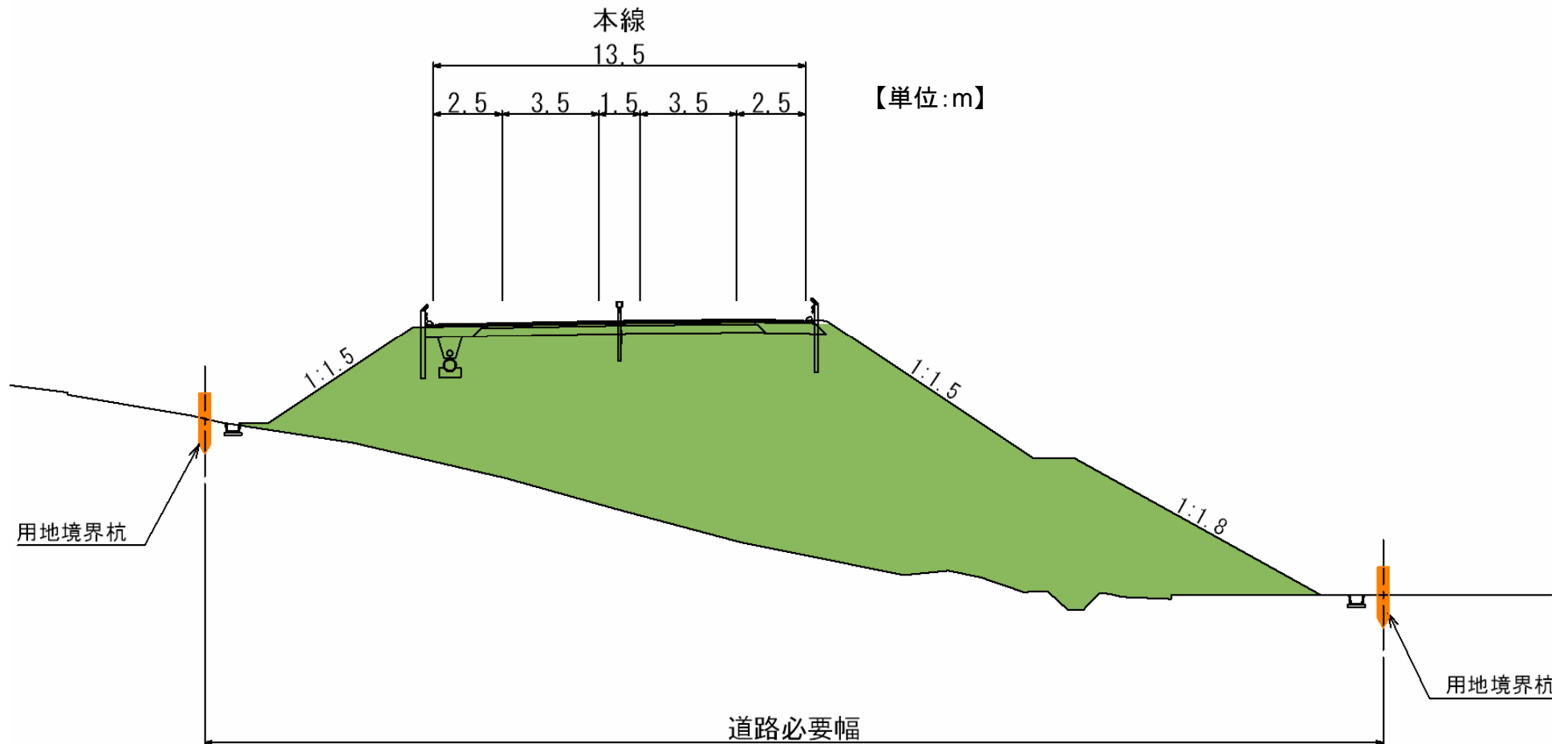


道路設計概要

○用地必要幅について

道路用地は、本線、側道、法面の範囲を取得します。

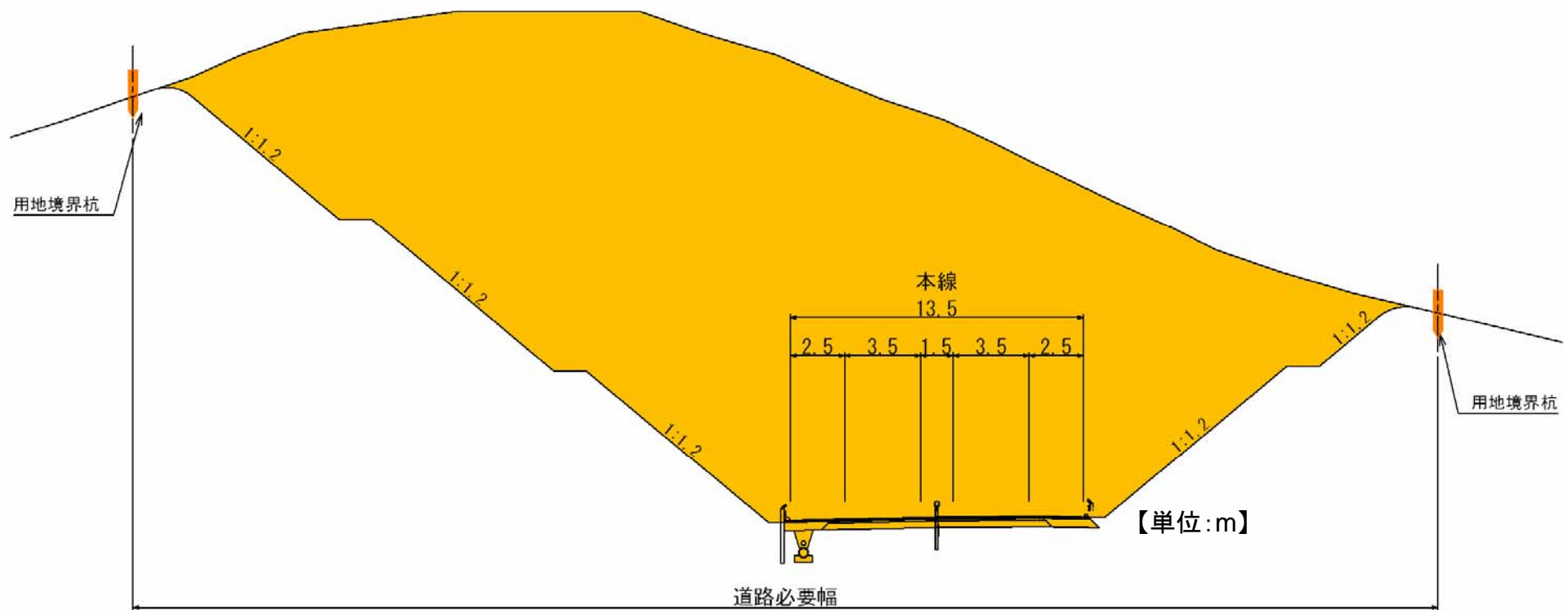
盛土部の場合



道路設計概要

○用地必要幅について

切土部の場合

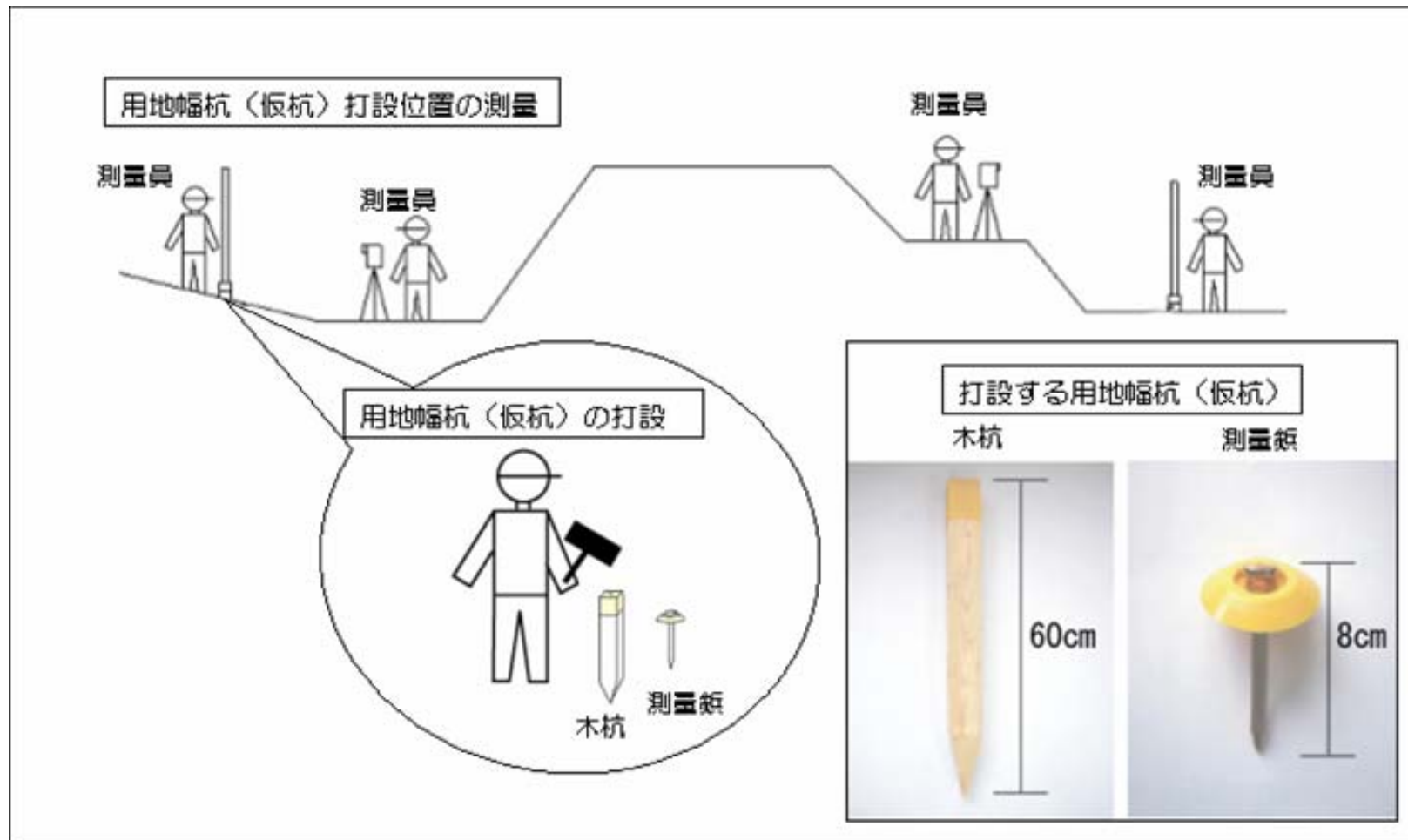


用地幅杭設置測量の概要



計画道路の用地幅が、皆様の土地にどれぐらいかかるか分かるように、現地に用地幅杭を設置する作業です。

用地幅杭設置測量の概要



測量機械により、用地幅杭（仮杭）を測量し、現地に木杭、測量鉤（頭部が黄色の表示）を設置します。

測定の作業上の留意事項

- ◇測量等は、委託した業者が実施します。
- ◇実施に当たっては、身分証明書を携帯して作業を実施します。
- ◇皆様の土地に立ち入る際は、所有地内を踏み荒らすことの無いように十分配慮します。
- ◇設置する杭や測量鉞が、通行の妨げになったり、危険と思われる場合には、通行の妨げや危険にならないよう配慮し設置します。
- ◇作業のため、やむを得ず足もとの下草などを刈る場合があります。